



KIMURATAN

第45期  
株主通信

平成19年4月1日→平成20年3月31日

株式会社 キムラタン

## ごあいさつ



代表取締役社長 浅川 岳彦

昨年(平成19年)12月、社長に就任いたしました浅川でございます。若輩者ではございますが、皆様方のご指導ご鞭撻をいただきながら、当社の再建に身命をとして取り組んで参る所存でございます。今後とも引き続きご理解ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

株主通信とは本来、会社の概況をダイジェストとして分かりやすくお伝えするべきものでございます。しかし、今回に限ってはむしろ、昨年より今年にかけて当社に発生した一連の事態と経緯を、私の言葉で皆様方に報告申し上げることが先決であるとの判断から、長文ではございますが、以下に報告説明させていただきます。

ます、昨年末に任期半ばにして代表取締役の交代という事態を招き、皆様方には多大のご心配をおかけいたしました。心より深くお詫び申し上げます。その理由につきましては既に公表しております情報開示および中期経営計画等において申し述べております通りでござ

いますが、ここで改めて説明させていただきます。

エレクトロニクスや携帯メディア事業など新事業分野においては子会社設立等を伴う多角化路線を進み、本業アパレルにおいては自社店舗の大量出店を中心とした拡大路線に邁進する。前社長就任より昨年末までのおよそ3年9ヶ月間、とくにその後半において当社が志向した路線を要約するとこのようになります。そしてこれが当中間期において結果的に破綻をきたしました。それまで減少傾向にあった営業損失が、再び増加しはじめたのです。当該路線はその名の通り、経費の拡大にくわえて設備投資の増大、製品を調達する資金の増大を伴いましたが、肝心の売上収入が結果として予定通り拡大いたしませんでした。そのため、業績の悪化にくわえて、運転資金の逼迫という事態を生じさせてしまいました。本業アパレルにおける自社店舗大量出店は、得意先各社の要請にもとづくものではございましたが、急激な出店ペースが運営能力の成熟と連動せず、予定する新規の売上が獲得できませんでした。また、出店に傾注するあまり、その一方で地域市場変化によって陳腐化・衰退化する既存店に対し有効な対策を講じ得ぬまま推移し、これらがあいまって当社店舗網全体として大きく予定売上高を下回る結果となりました。子会社2社を含むエレクトロニクス事業においては、AV製品の得意先拡大およびカメラ部門における有望製品の登場には至ったものの、投下した開発資金による償却費および事業経費の膨張によって、目下の実力以上の売上高が必要な事業構造に至っております。しかしながら、当期は新規カメラ製品の受注を得るに予定以上の時間を要する結果となり、今後当該事業が成立する売上規模を得るには、さらなる営業時間を要する見通しであるとともに、相応の製品調達資金の投下が必要となってまいります。資金面での逼迫が発生した当下半期においては、受注済製品の仕入調達にさえ支障をきたしたため、計画に対し大きく未達に終わる結果となりました。次に、新顧客創造をめざして開始しました携帯メディア事業ですが、設備投資および運営経費が先行するなか、提携会社との連携において種々の施策を実行いたしましたが、収益を生み出すに至る会員数の獲得になかなか見通しが立たず、厳しい状況が続いておりました。全体として「量」の拡大に没頭するあまり、各事業における「質」の追求に精度を欠いていたと言わざるを得ず、あわせて会社総体としての体力・戦力について自己認識が甘かったと言わざるを得ません。多角化・拡大路線のもとにかかえようとした各事業の内実が、このような状況であったために、売上面・資金面の両面において、路線全体が失速し破綻するに至ったのでございます。

消費全体が成熟し飽和し、かつまた下振れトレンドにある今日、このような多角化・拡大一辺倒路線はもはや成立いたしません。前社長川床氏を筆頭とする私ども取締役会によるかつての選択を、深く反省いたしますとともに、当社の経営を株主様より委任された者として心よりお詫び申し上げます。

こうした事態を終結し、新たな路線を構築すべく、また人心をひとつにまとめるために、私どもは昨年12月代表取締役の交代を決議し、川床氏に代わり私が社長に就任させていただきました。現取締役会および幹部社員一同、直後より新たな中期経営計画策定に心血を注ぎました。本年2月21日および4月25日に追加で発表させていただきました当社中期経営計画が私どもの新たな路線であり、その結果としての業績予測でございます。自社のもつ強み・特性に集中する「選択と集中」は多くの企業の新路線となっておりますが、当社にも明確な強み・特性がございます。それは「愛情設計」「ビケット」新ブランド「ユッピー」等、永らく信頼され、お客様に支持していただける当社製品群であり、愛されるベビー衣料の提供者であるメーカーとしてのキムラタンであります。「ベビー衣料メーカーとして当社を再建すること」この一点に集中することが、提示させていただいた中期経営計画の根幹をなす意思決定であります。逆にこの「メーカー回帰路線」への一点集中にしか当社の再建はないと判断しており、従いまして、本中期経営計画は、本業以外の事業からの撤退と不採算部門の閉鎖断行をあわせて大小10項目に及ぶ「撤退」を出発点としております。集中化を可能にするためのこれら「撤退」は、一時的な売上縮小に耐え得るだけの経費支出縮小を目指すものであります。次に「メーカー回帰路線」によって誇りと自信をもって世に送る当社製品の新たな「出口戦略」が、「撤退」のあとに記述された中期経営計画の各論となっております。多くの「撤退」を含む集中化路線は一般に、縮小均衡と理解されがちであることと思えます。ましてや少子化が進むわが国において、「ベビー衣料メーカー」の行く末を案じる声もあることと存じます。しかしながら、当社が対象年齢とする国内市場規模はおおよそ6000億円でございます。海外市場の可能性を含めればその数十倍になることは言うまでもありません。そうしたなか「メーカー回帰路線」とは、信頼ある優れた製品の提供者として、次なる「販売の強者」と取り組むことを指します。かつての強者は今の強者ではありません。当社は今、次なる「販売の強者」との取り組みを開始いたしました。この販売強者は将来において海外市場への進出を視野に入れていることでしょう。また当社ネット部門における販売拡大方針は、その先に海外市場への告知・販売を視野にいれております。以上、新路線の概要を簡単に説明させていただきました。皆様方におかれましては、現在当社が実行中の中期経営計画をお忙しいとは存じますが是非ご高覧くださいませ。

最後に当期の業績につきまして、再び巨額の赤字を計上するに至りましたこと、私をはじめ現取締役会一同、心より深くお詫び申し上げます。先述いたしました業績悪化にくわえまして、新路線転換のためのあらゆる撤退損失を計上させていただきました。

しかしながら、当期を最後の整理とさせていただき、次期以降、業績回復・中期経営計画の実現に向けて、私をはじめ役員社員一同、粉骨砕身頑張っております所存でございます。株主様のこれまでのご恩に報い、信頼される上場企業として再建できますよう努めてまいりますので、今一度ご理解ご支援賜りますようお願い申し上げます。

**中期経営計画につきましては、当社ホームページをご覧ください。**

**<http://www.kimuratan.co.jp/pdf/20080425.pdf>**

# 愛情設計

ママとおなじ、ぬくもりとやさしさで、大切な赤ちゃんを包みたい。

キムラタンの愛情設計は、そんな想いをコンセプトに、素材やカッティング、そして1つ1つの縫製にまでこだわったベビー服づくりに取り組んでいます。素材はオーガニックコットン、ラ・モルフェ®、愛情コットン™などの低刺激素材を使用。赤ちゃんの体型にあわせたカッティングや 赤ちゃんの敏感な肌に縫い目が直接あたらない縫製など、きめ細かな配慮を随所に施し、品質、機能性と 可愛いデザインを両立した新しいベビー服を提案しています。日本縫製を中心に安心で安全なものづくりにこだわっています。



それが愛情設計のこだわりです。

## 愛情設計モールサイト誕生



当社が培ってきた新生児のノウハウを結集し、「愛情設計」の基本コンセプト「安心・安全・日本製」に基づいたモールサイトを立ち上げます。

## Youpi!

ポップな柄・色のパッチワークと鮮やかなビタミンカラー。新鮮なカジュアルファッション。

「Youpi! (ユッピー)」というブランド名の由来はフランス語で「わーい!」「やったあ!」という意味。「ポップな柄のパッチワークと元気な色づかい」が新鮮なガーリートレンドカジュアルです



## coeur a coeur

かわいいどうぶつたちがいつもみんなのそばにいるよ

クーラクルのベビー服は、絵本から飛び出したような楽しい動物たちのデザインと着心地の柔らかな素材で、子どもらしく、かわいらしいベビー服ファッションを提案しています。

## Biquette\*

手縫いのようなやわらかさとやさしさとやさしさ

手縫いのようなやわらかさとやさしさがキーワード。ハンドクラフト感いっぱいのごだわり商品をリーズナブルプライスでお届けしています。手作り感いっぱいの子供らしさ・かわいさを追求したブランドです。



## Biquette\* Club

ママのようなやさしさとちよびり背伸びしたお洋服

愛らしさを引き立てるクラフト感と、大人っぽさを感じさせるトレンドをブレンドしたデザイン。手作りしたようなやさしさ、あたたかさが子供たちを包みます。ハグしたくなるほどキュートなブランドです。

## ● 営業成績および財産の状況の推移

## ▼連結

| 区分         | 第42期<br>(平成17年3月期) | 第43期<br>(平成18年3月期)   | 第44期<br>(平成19年3月期)   | 第45期<br>(平成20年3月期)   |
|------------|--------------------|----------------------|----------------------|----------------------|
| 売上高        | - <sup>百万円</sup>   | 5,019 <sup>百万円</sup> | 7,083 <sup>百万円</sup> | 6,692 <sup>百万円</sup> |
| 経常損失       | -                  | 2,168                | 924                  | 1,759                |
| 当期純損失      | -                  | 2,768                | 547                  | 2,521                |
| 1株当たり当期純損失 | -                  | 9.44 円               | 1.42 円               | 6.38 円               |
| 総資産        | - <sup>百万円</sup>   | 7,602 <sup>百万円</sup> | 5,651 <sup>百万円</sup> | 2,806 <sup>百万円</sup> |
| 純資産        | -                  | 1,345                | 3,048                | 499                  |

## ▼個別

| 区分         | 第42期<br>(平成17年3月期)   | 第43期<br>(平成18年3月期)   | 第44期<br>(平成19年3月期)   | 第45期<br>(平成20年3月期)   |
|------------|----------------------|----------------------|----------------------|----------------------|
| 売上高        | 4,586 <sup>百万円</sup> | 4,915 <sup>百万円</sup> | 6,337 <sup>百万円</sup> | 6,368 <sup>百万円</sup> |
| 経常損失       | 2,472                | 2,088                | 1,010                | 1,569                |
| 当期純損失      | 5,391                | 2,691                | 624                  | 2,534                |
| 1株当たり当期純損失 | 23.50 円              | 9.17 円               | 1.62 円               | 6.41 円               |
| 総資産        | 8,331 <sup>百万円</sup> | 7,207 <sup>百万円</sup> | 5,092 <sup>百万円</sup> | 2,806 <sup>百万円</sup> |
| 純資産        | 133                  | 1,441                | 3,042                | 499                  |

## ● 部門別売上高の状況

## ▼連結

| 区分         | 第42期<br>(平成17年3月期) | 第43期<br>(平成18年3月期)   | 第44期<br>(平成19年3月期)   | 第45期<br>(平成20年3月期)   |
|------------|--------------------|----------------------|----------------------|----------------------|
| アパレル事業     | - <sup>百万円</sup>   | 4,041 <sup>百万円</sup> | 5,436 <sup>百万円</sup> | 5,785 <sup>百万円</sup> |
| エレクトロニクス事業 | -                  | 977                  | 1,647                | 907                  |
| 合計         | -                  | 5,019                | 7,083                | 6,692                |

## ▼個別

| 区分         | 第42期<br>(平成17年3月期)   | 第43期<br>(平成18年3月期)   | 第44期<br>(平成19年3月期)   | 第45期<br>(平成20年3月期)   |
|------------|----------------------|----------------------|----------------------|----------------------|
| アパレル事業     | 4,448 <sup>百万円</sup> | 4,041 <sup>百万円</sup> | 5,436 <sup>百万円</sup> | 5,785 <sup>百万円</sup> |
| エレクトロニクス事業 | 138                  | 873                  | 901                  | 582                  |
| 合計         | 4,586                | 4,915                | 6,337                | 6,368                |

## 会社の概況

平成20年3月31日現在

|          |                                   |
|----------|-----------------------------------|
| 創業       | 大正14年4月                           |
| 本社       | 神戸市中央区小野柄通4丁目1番22号 アーバンエース三宮ビル10階 |
| 資本金      | 11,318,981,225円                   |
| 発行済株式の総数 | 395,093,101株                      |
| 株主数      | 20,838名                           |
| 従業員数     | 369名（契約社員・パートタイマー302名を含みます）       |

## 取締役及び監査役

平成20年6月27日現在

| 地 位     | 氏 名     | 担当または主な職業          |
|---------|---------|--------------------|
| 代表取締役社長 | 浅 川 岳 彦 |                    |
| 常務取締役   | 岡 村 秀 信 | 営業本部長              |
| 取 締 役   | 有 隅 祐 二 | 営業副本部長             |
| 取 締 役   | 木 村 裕 輔 | 業務本部長(兼)財務経理システム部長 |
| 取 締 役   | 高 田 新 一 | 総務人事部長             |
| 常勤監査役   | 松 本 一 成 |                    |
| 監 査 役   | 林 邦 雄   |                    |
| 監 査 役   | 軸 丸 欣 哉 | 弁護士                |

(注) 平成20年6月27日開催の定時株主総会において、新たに高田新一が取締役に選任され就任いたしました。取締役 川床博が退任いたしました。監査役 林 邦雄、軸丸欣哉が再選され就任いたしました。両名は会社法第16号に定める社外監査役であります。



## ● 株主メモ

1. 事業年度  
毎年4月1日から翌年3月31日
2. 定時株主総会  
毎年6月中
3. 基準日  
定時株主総会については3月31日  
その他の必要がある場合は、あらかじめ公告して定めた日。
4. 配当金受領株主確定日  
期末配当金 3月31日  
中間配当金 9月30日
5. 公告の方法  
電子公告による方法。  
ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。  
※公告掲載の当社ホームページアドレス  
<http://www.kimuratan.co.jp/ir/>

決算公告については、EDINETに掲載いたしております。

6. 株式事務取扱場所、取次所  
株主名簿管理人 東京都中央区日本橋茅場町一丁目2番4号  
日本証券代行株式会社  
事務取扱場所 大阪市中央区高麗橋二丁目6番10号  
日本証券代行株式会社 大阪支店  
取次所 日本証券代行株式会社 本店及び各支店
7. 上場証券取引所 大阪証券取引所市場第一部  
証券コード(8107)
8. 単元株式数 1,000 株

郵便物送付先:お問い合わせ先  
〒137 - 8650  
東京都江東区塩浜二丁目8番18号  
日本証券代行株式会社 代理人部  
(住所変更等用紙のご請求) 0120 - 707 - 842  
(その他のご照会) 0120 - 707 - 843

証券保管振替制度をご利用の方はお取引のある証券会社へ  
ご照会下さい。